

TKS report vol.19

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

第110期年次報告書

2015年3月1日～2016年2月29日

株式会社 **東京衡機**

TOKYO KOKI CO. LTD.

【東証2部上場（証券コード7719）】



トピックメッセージ/企業理念



contents

トップメッセージ/企業理念	1
決算ハイライト	2
事業内容	3
事業の概況	4
特集 疲労試験機 NEW ラインナップ	5
連結財務諸表(概要)	7
トピックス	9
株式情報/会社概要/役員等	10



代表取締役会長兼社長
石川 隆一

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第110期(2015年3月1日~2016年2月29日)は、政府の経済財政政策や円安局面の定着、原油価格の下落等を背景に企業収益の回復基調や雇用・所得環境の改善が見られ、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気の減速が懸念され、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響を受けるおそれがある状況であります。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業では、2015年9月1日に会社分割により当社の試験機事業および子会社である(株)東京衡機試験機サービスの全株式を(株)東京試験機(同日付で(株)東京衡機試験機に商号変更)に承継させ、グループの試験機事業の統合を図り、営業・サービス体制の充実強化をはじめ事業全般における統合効果の実現に取り組みました。

エンジニアリング事業の中核事業である締結具事業では、高速道路や電力関係等のインフラ施設や公共工事関連施設を対象に販売体制を強化するとともに、事業収益構造の抜本的改善に向けた生産体制の見直しを実施いたしました。また、同事業のうち民生事業では、不採算事業の縮小・撤退を実施するとともに、収益改善に向け住宅防音工事関連ビジネスの事業形態の見直

しに着手いたしました。なお、期後半からは売上拡大に向けて量販店向け商品の取扱いも開始いたしました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司を中心にオフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等となるプラスチック加工製品の製造・販売に注力するとともに、新規取引先の開拓や生産体制の見直し、業務執行体制の刷新等を行いました。

当期の業績につきましては、試験機事業では、売上は前期並みとなったものの、原価低減策の実行等により利益は前期を上回りました。一方、エンジニアリング事業は、各事業の収益構造改革の成果が出るにはいましばらく時間を要し、売上は伸び悩みました。また、海外事業では、中国の景気減速に伴う市場環境の変化等により収益は大きく落ち込みました。その結果、グループ全体では前期に引き続き営業黒字を確保したものの減収減益となりました。

今後につきましては、中長期的視点に立って、グループ各社の連携と内部管理体制の充実強化を図り、各事業の業務改革を進めるとともに、積極的な投資も検討し、事業基盤の安定と拡大を目指す所存であります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と
顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、
“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を
尊重する”とともに、やさしさと
温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、
地域からも“信頼される
企業市民”であり続けます。

決算ハイライト

第110期 (2015年3月1日～2016年2月29日)

	連結業績	個別業績 (当社単体)
売上高	4,800百万円 (前年度比 △17.8%)	1,475百万円 (前年度比 △39.3%)
営業利益	3百万円 (前年度比 △92.6%)	△68百万円 (前年度比 ー%)
経常利益	9百万円 (前年度比 △81.9%)	△83百万円 (前年度比 ー%)
当期純利益	114百万円 (前年度比 ー%)	△106百万円 (前年度比 ー%)
1株当たり当期純利益	1円61銭	△1円49銭

*△は損失を示しております。

当連結会計年度は、試験機事業では、企業の設備投資の増大傾向を受けて受注環境に改善の傾向がみられる中、受注は前年度に比べ伸び悩み、年度前半は当社単体の売上の落ち込みを主因に低迷したものの、年度全体では売上は前年度並みとなり、営業損益は原価低減策の実行等により前年度を上回りました。

エンジニアリング事業の中核事業である締結具事業では、主力製品のハイパーロードナットとゆるみ止めスプリングについて、インフラ施設や公共工事関連施設を対象に販売体制を強化するとともに、事業収益構造の抜本的改善に向け国内での製造委託体制を構築しました。その結果、売上は伸び悩んだものの、営業損益は前年度に比べて改善いたしました。なお、同事業の製造子会社であった㈱KHIについては、2015年7月に特別清算手続終結決定が確定し連結の範囲から除外しましたが、当連結会計年度において同社に対する金融機関等の債権放棄が確定したため、当該債権放棄に係る債務免除益260百万円を特別利益として計上いたしました。また、民生事業では、波形手すりや健康関連商品の取扱いについて、今後の成長性や収益性を勘案して縮小・撤退するとともに、住宅防音工事関連ビジネスについて、収益改善に向け事業形態を見直すことといたしました。一方、年度後半から量販店向け商品の取扱いも開始いたしました。売上は前年度に比べ大幅に減少し、低調に推移いたしました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司を中心にオフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等のプラスチック加工製品の製造・販売に注力いたしました。中国の景気減速に伴う市場環境の変化等により受注・売上が大きく落ち込み、新規取引先の開拓や生産体制の見直し、業務執行体制の刷新等を実施した結果、年度後半以降改善基調に戻ったものの、前年度の業績を大きく下回る結果となりました。また、同事業のうち、中国子会社において展開してきた空気清浄機や除湿機等の家電製品の製造販売事業について、中国国内の市場環境悪化等による業績不振に伴い、当該事業からの撤退を決断するに至り、事業撤退に伴う特別損失101百万円を計上いたしました。

以上の結果、当期の連結業績および個別業績は上記のとおりとなりました。

業績のポイント

- ①試験機事業は、売上高は前年並みであったが、原価改善等により営業利益は増加
- ②エンジニアリング事業は、事業構造改革の成果が充分には出ておらず、売上は落ち込んだものの損益は改善
- ③海外事業は、中国の景気減速の影響等で受注・売上が大きく落ち込み、新規取引先の開拓や業務執行体制の刷新を実施
- ④特別清算を結了した子会社の債務免除益を特別利益に計上

■ 業績の見通し (2016年4月14日の業績予想公表時点)

第111期 (2016年3月1日～2017年2月28日)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績	通期	5,400百万円	150百万円	120百万円	65百万円
個別業績 (当社単体)	通期	886百万円	公表値なし	35百万円	22百万円

事業内容

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供するエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

試験機事業

試験機・計測機器の開発・設計・生産からメンテナンス・校正・受託試験サービスまで高度な技術力によりワンストップソリューションを提供しており、産業界や各種研究機関から広くご愛顧をいただいております。



試験機事業

海外事業

TKS
TOKYO KOKI

Technology and Knowledge Enrich Society

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業

海外事業

中国子会社の樹脂成型技術を活かして、オフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等のプラスチック成型品の製造販売を行っています。



画期的なアイデアと独自の技術で開発したゆるみ止めナットとナットの脱落を防止するゆるみ止めスプリングの製造販売(締結具事業)を中心に、一般消費者向けの住宅関連サービス等(民生事業)を行っています。



アジア地域における拠点

MONGOLIA

CHINA

NORTH KOREA

SOUTH KOREA

JAPAN

無錫三和塑料製品有限公司

東京衡機
試験機
豊橋工場

東京衡機
試験機
相模工場

東京衡機
試験機
サービス

TKS
東京衡機

事業拠点



相模工場

本店

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
第7東ビル6階



豊橋工場

国内子会社

株式会社東京衡機試験機

- 東京衡機事業本部(相模工場)・営業本部関東支店
〒252-0151
神奈川県相模原市緑区三井315番地
- 東京試験機事業本部(豊橋工場)・営業本部中部支店
〒440-0071
愛知県豊橋市北島町字北島202番地
- 営業本部東京支店
〒101-0032
東京都千代田区岩本町三丁目4番5号 第1東ビル4階
- 営業本部大阪支店
〒532-0003
大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル2階

株式会社東京衡機試験機サービス

- 本社
〒214-0014
神奈川県川崎市多摩区登戸639番地5

株式会社テークステレコム ※事業休止中

海外子会社

- 無錫三和塑料製品有限公司 (中国江蘇省無錫市)
- 無錫特可思電器製造有限公司 (中国江蘇省無錫市)
- 瀋陽特可思木芸製品有限公司 ※事業休止中

事業の概況

当社グループは、中長期的な経営戦略として、①試験機事業のブランド力の強化、②既存事業の深耕化と関連事業の強化、③海外市場への展開を掲げ、以下のとおり事業を展開しております。

1 試験機事業の ブランド力の強化

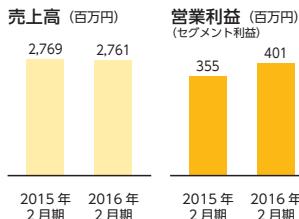
2 既存事業の深耕化と 関連事業の強化

3 海外市場への展開



試験機事業

売上高	2,761	百万円
営業利益 (セグメント利益)	401	百万円

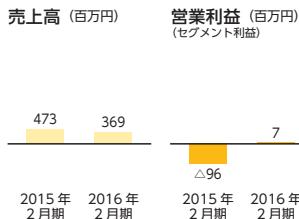


当社は、昨年9月1日にグループの試験機事業の統合を実施し、営業・サービス体制の充実強化や原価低減策の実行等に取り組みました。その結果、売上は前期並みに止まったものの、営業利益は増加しました。今後は、競争力の強化に向けて製品開発や資材調達など事業全般における統合効果を追求するとともに、営業面では、全国提携代理店との連携を含めた販売体制をより有機的に機能させ、生産面では、製造原価マネジメントの精度を向上して製造原価低減を推進することにより、安定的な収益基盤の確立に努めます。



エンジニアリング事業

売上高	369	百万円
営業利益 (セグメント利益)	7	百万円

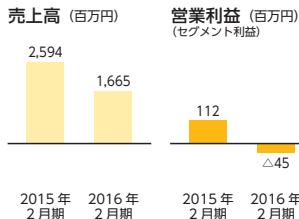


当社は、締結具関係は、主力製品のハイパーロードナットとゆるみ止めスプリングについて、高速道路や電力関係のインフラ施設等を対象に販売体制を強化するとともに、国内での製造委託体制を構築しました。一方、波形手すりや健康関連商品の取扱いについては今後の成長性等を勘案して取りやめ、住宅防音工事関連についても収益改善に向け事業形態を見直すことといたしました。その結果、事業全体では、前期に比べ売上は大幅に減少しましたが、営業損益は改善しました。今後は中期的な売上の安定化と収益確保に向けて構造転換を進めます。



海外事業

売上高	1,665	百万円
営業利益 (セグメント利益)	△45	百万円



当社は、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司を中心にオフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等のプラスチック加工製品の製造・販売に注力しましたが、中国の景気減速に伴う市場環境の変化等により売上が大きく落ち込み、新規取引先の開拓や生産体制の見直し、業務執行体制の刷新等の対策を実施し、期後半以降は改善基調に戻ったものの、前期の業績を大きく下回る結果となりました。今後は、日中間でのグループシナジーを追求するとともに、多様化する顧客ニーズに対応して競争力を維持すべく、設備・人材の両面からプラスチック成型技術の高度化を推進します。



※売上高には、外部顧客への売上高を記載しております。
※△は損失を示しております。

特集 **疲労試験機**
NEWラインナップ



今回は、従来から標準的な平面曲げ疲労試験機として数多くの納入実績のあるPBFおよびPTFシリーズの伝統的機構部を踏襲しながら最新のサーボ技術により進化させた新製品についてご紹介いたします。



曲げモーメント制御式平面曲げ疲労試験機 Advanced PBF

◆特徴

主に金属材料を試験対象とした世界的なスタンダードマシンPBFについて、最新のサーボ技術によるデジタルクローズドループ制御方式を採用したことにより、これまでの「曲げ角度一定運転」に加えて「曲げモーメント制御（応力制御）」が行えるようになり、高度な「き裂進展試験」などにも対応することができます。

◆タッチパネル画面

◆定格曲げモーメント

0~±30N・m

◆試験モード

- ・高/低サイクル試験
- ・き裂進展試験
- ・ブロックプログラム試験

◆試験温度

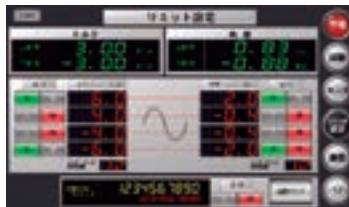
- ・室温



試験画面



デジタルモニタ画面



リミット設定画面



波形モニタ画面

温度環境槽付平面曲げ疲労試験機 PBF-5

◆特徴

樹脂類などの素材をターゲットとした平面曲げ疲労試験機です。恒温槽を備えており、PBFシリーズの伝統的機構部を踏襲しながら最新のサーボ技術によるデジタルクローズドループ制御方式を採用したことにより、高精度な曲げ角度またはモーメント制御の疲労試験を行うことができます。

◆定格曲げモーメント

0～±5N・m

◆試験モード

- ・高／低サイクル試験
- ・ブロックプログラム試験

◆試験温度

- ・－20～200℃（恒温槽装備）



温度環境槽付平面曲げ疲労試験機 PTF-30

◆特徴

CFRPなどの複合素材をはじめ金属材料などを対象とし、温度環境下での試験を行うことができる平面曲げ疲労試験機です。他の新製品と同様に、最新のサーボ技術によるデジタルクローズドループ制御方式を採用しました。恒温槽や電気炉などの装備が容易であり、多様な環境での疲労試験に対応することができます。

◆定格曲げモーメント

0～±30N・m

◆試験モード

- ・高／低サイクル試験
- ・ブロックプログラム試験

◆試験温度

- ・－20～200℃（恒温槽装備）
- ・200～900℃（電気炉装備）



連結財務諸表（概要）（単位：百万円、単位未満切捨て）

連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 2015年2月28日現在	当連結会計年度 2016年2月29日現在
資産の部		
流動資産	3,920	3,102
現金及び預金 1	874	552
受取手形及び売掛金等 2	1,978	1,612
たな卸資産	886	822
繰延税金資産	2	5
その他	213	180
貸倒引当金	△ 36	△ 71
固定資産	1,516	1,417
有形固定資産 3	1,254	1,149
無形固定資産	135	119
繰延税金資産	20	49
投資その他	560	456
貸倒引当金	△ 453	△ 357
資産合計	5,436	4,519
負債の部		
流動負債	2,936	2,052
固定負債	979	884
負債合計 4	3,916	2,937
純資産の部		
株主資本 5	861	976
その他の包括利益累計額 6	657	605
純資産合計	1,519	1,581
負債純資産合計	5,436	4,519

Point1 現金及び預金

長期借入等の資金調達を行っておりますが、㈱KHIの特別清算に伴う金融機関への弁済や保証債務の履行、長・短期借入金の弁済等を主因に前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少しております。

Point2 受取手形及び売掛金等

売上高の減少に伴い前連結会計年度末に比べ3億65百万円減少しております。

Point3 有形固定資産

㈱KHIの解散・清算に伴う土地建物の処分ならびに無錫三和塑料製品有限公司およびその子会社の家電製品事業に係る事業再編に伴う処理等により前連結会計年度末に比べ1億4百万円減少しております。

Point4 負債合計

主に長・短期借入金の弁済と売上減少による買掛債務の減少により、前連結会計年度末に比べ9億79百万円減少しております。

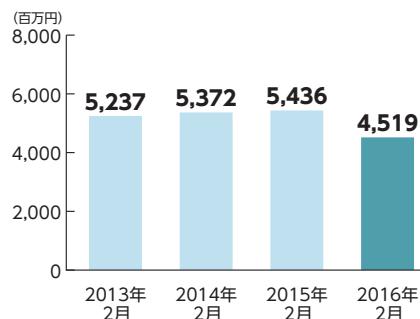
Point5 株主資本

主に当期純利益により前連結会計年度末に比べ1億14百万円増加しております。

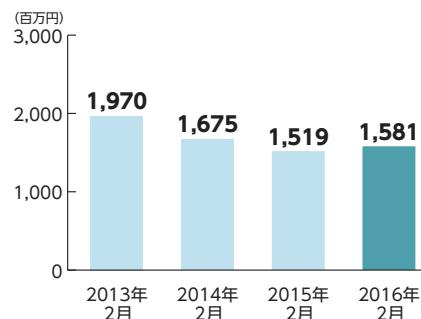
Point6 その他の包括利益累計額

主に人民元に係る為替換算調整勘定の減少により前連結会計年度末に比べ52百万円減少しております。

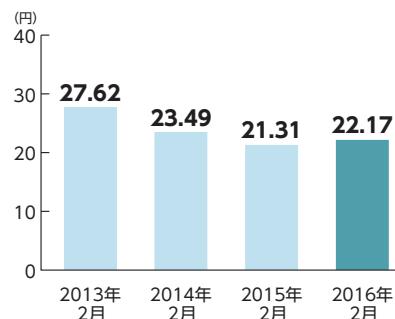
総資産



純資産



1株当たり純資産



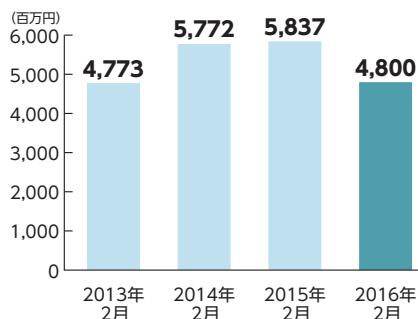
連結損益計算書

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2014年3月1日～2015年2月28日	2015年3月1日～2016年2月29日
売上高 7	5,837	4,800
売上原価	4,392	3,470
売上総利益 8	1,445	1,330
販売費及び一般管理費	1,398	1,326
営業利益	47	3
営業外収益	71	57
営業外費用	65	50
経常利益	53	9
特別利益 9	—	265
特別損失 10	211	108
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△ 157	166
法人税等	80	52
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失 (△)	△ 237	114
当期純利益又は当期純損失 (△)	△ 237	114

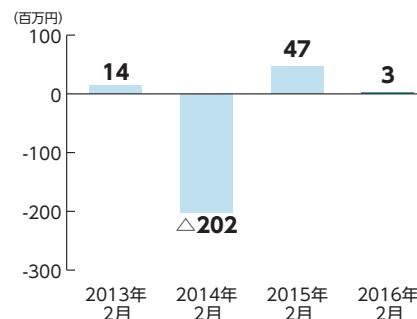
連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2014年3月1日～2015年2月28日	2015年3月1日～2016年2月29日
営業活動によるキャッシュ・フロー	42	△ 123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 41	62
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	△ 246
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△ 4
現金及び現金同等物の増加額又は減少額 (△)	32	△ 311
現金及び現金同等物の期首残高	787	820
現金及び現金同等物の期末残高	820	508

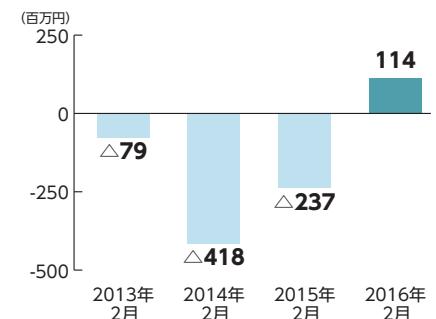
売上高



営業利益



当期純利益



Point7 売上高

売上高は前連結会計年度に比べ10億37百万円減少しており、試験機事業は6百万円、エンジニアリング事業は1億6百万円、海外事業は8億52百万円とすべてのセグメントでマイナスとなっております。なお、海外事業の売上高の減少は連結子会社であった上海参和商事有限公司を出資持分の譲渡により連結対象から除外したことも大きく影響しております。

Point8 売上総利益

売上総利益は海外事業の売上高の大幅な落込みを主因に前連結会計年度に比べ1億15百万円減少しておりますが、売上総利益率は3ポイント改善し、27.7%となっております。

Point9 特別利益

株KHIの特別清算結了に伴い債務免除益2億60百万円を特別利益に計上しております。

Point10 特別損失

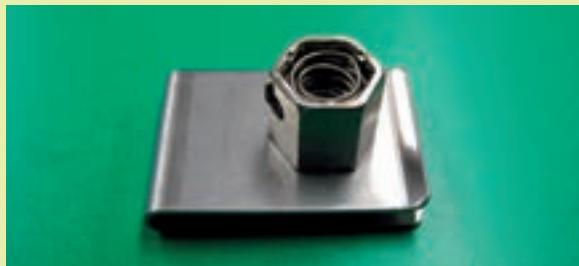
無錫三和塑料製品有限公司およびその子会社の家電製品事業に係る事業再編損を1億1百万円計上しております。

トピックス

首都高速道路(株)と共同特許出願

当社は、2014年9月に新製品「クリップハイパーロードナット」を首都高速道路(株)様と共同で開発し特許の出願を行いました。クリップ金具を用いたクリップナットは高速道路の橋梁部では遮音壁や外装板に、トンネル部では耐火板の締結に使用されています。「クリップハイパーロードナット」も既に一部の箇所では導入が開始されており、今後さらなる使用が見込まれております。当社は、従前は単独での製品

開発による特許出願を基本としておりましたので、お客様のご要望をお受けした形での共同開発は初めての挑戦で、今回は首都高速道路(株)様からアイデアをいただき両社で開発を進め完成に至った次第です。この「クリップハイパーロードナット」を好例として、今後もお客様の立場でより良い製品の開発を進めて参る所存であります。



株式情報 (2016年2月29日現在)

● 株式の概況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数*	71,337,916株
株主数	3,444名

*上記の発行済株式の総数には、自己株式25,787株を含みます。

● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社アジアゲートホールディングス	27,379千株	38.39%
オカザキファンド投資事業有限責任組合	2,000千株	2.80%
何 積橋	1,910千株	2.67%
岡崎 由雄	1,050千株	1.47%
早坂 天	1,029千株	1.44%
前田 喜美子	945千株	1.32%
石井 照義	496千株	0.69%
日本証券金融株式会社	482千株	0.67%
仮屋 浩一	460千株	0.64%
池上 道弘	406千株	0.56%

*持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式(25,787株)を控除しております。

● 株式の分布状況



● 事業法人等	30,191千株	42.32%
● 個人・その他	39,058千株	54.75%
● 金融機関	714千株	1.00%
● 証券会社	926千株	1.30%
● 外国法人等	421千株	0.59%
● 自己名義株式	25千株	0.04%
合計	71,337千株	100%



● 1単元未満	192名	5.57%
● 1単元以上	1,957名	56.82%
● 5単元以上	476名	13.82%
● 10単元以上	648名	18.82%
● 50単元以上	94名	2.73%
● 100単元以上	77名	2.24%
合計	3,444名	100%

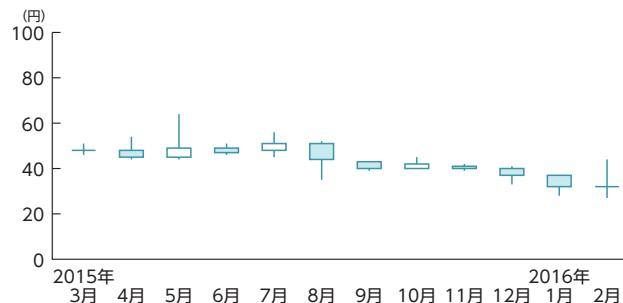
会社概要 (2016年2月29日現在)

商号	株式会社東京衡機
本店所在地	東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
創立	1923年(大正12年)3月20日
資本金	27億1,355万2,013円
従業員数	18名(連結388名)
事業内容	試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス 住宅関連設備その他一般消費者向け商品の販売、各種サービス

役員等 (2016年5月25日現在)

代表取締役会長兼社長(兼 社長執行役員)	石川 隆一
取締役(兼 副社長執行役員 中国事業担当)	竹中 洋
取締役(兼 常務執行役員 営業開発部門担当)	平田 真一郎
取締役(社外取締役)	花島 浩
取締役(社外取締役)	神邊 英明
常勤監査役	遠藤 栄一
監査役(社外監査役)	藤田 泰三
監査役(社外監査役)	田野 春風
監査役(社外監査役)	石渡 隆生
会計監査人	清和監査法人

● 株価の推移



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同上連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告 (掲載 URL http://www.tksnet.co.jp) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

東京衡機ホームページ
<http://www.tksnet.co.jp/>

IR情報はこちらからご覧いただけます。



ロゴマークについて

“技術力”“独創性”“人”“伝統”全てをリンクさせ、一丸となって新しい時代へ向かう東京衡機の姿を表現するため、「青」「赤」「緑」「紫」を“光のイメージ”に展開しています。

青：東京衡機の技術力

真っ青な海や空を眺めていると不思議と心が安らぎ、ポジティブな気持ちになります。そのことから「青」は冷静、自立、希望を象徴し、また知性、誠実のイメージをもつ色といわれています。次代のシーズを冷静に判断し、お客様のご要望に的確に応えるため、あらゆる知性を集約した、東京衡機の“技術力”を「青」で表現しています。

赤：東京衡機の独創性

万物に恵みを与えてくれる太陽の色「赤」は、外へと向かうパワーを感じさせます。

情熱、エネルギー、ダイナミック、活動的なイメージがあり、幸運を招く色としても知られています。新しい次代へ挑むエネルギーとなる、東京衡機の“独創性”を「赤」で表現しています。

緑：東京衡機の人

自然の美しさや木々の芽吹きを連想させる「緑」は、すがすがしさ、新鮮さ、新しい可能性、生命力を象徴する色です。いつまでも新鮮で、新しい可能性に満ち、時代を乗り越える生命力を備えた東京衡機の財産“人”を「緑」で表現しています。

紫：東京衡機の伝統

染料の入手が困難なこと、染め出す技術が高度なことより、古来から「紫」は高貴な色として崇められ、また伝統、古典のイメージをもつ色です。1923年創業という長い歴史を誇る、東京衡機の“伝統”を「紫」で表現しています。

株式会社 **東京衡機**
TOKYO KOKI CO. LTD.



〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
TEL 03-5207-6760 FAX 03-5298-1802